



しもまち

キラリ



サックス奏者 岡村トモ子さん



女性16人のビッグバンド「たをやめオルケスタ」リーダー。数々のアーティストのライブやレコーディングに参加し、楽曲提供も幅広く手掛ける。地元愛・音楽愛に燃えるサックス奏者。



▲長府で行われた、観客総立ち、大成功のライブ。自身の配信でも、涙ながらに成功を喜んだ。

好きに全力
「その日」のために

まさか音楽を続ける
ことになるとは…

岡村さんがサックスを手にしたきっかけは、2歳年上のお姉さんでした。「姉が違う楽器をしていたら、私も別の楽器を選んでいたらと思います」とはにかみます。高校の吹奏楽部では中国大会への進出を果たし、音楽って楽しい！そんな気持ちが大きく膨らんだのもこの頃でした。

一方で、当時の夢は服飾デザイナー。大学と服飾専門学校とのダブルスクール生活を送りながらサックスを続けていました。大学でバンド活動

を始め、さらにサックス奏者、向井志門氏に師事。約6年間にわたって本格的にサックスを学びました。

卒業後は、夢だった服飾業界への就職も考えましたが、「仕事にするのは違う」と感じ、人生の舵を大きく切ります。

サックス以外で
一円ももらわんで！

覚悟を決めた岡村さんは、単身歌舞伎町のジャズクラブに飛び込みました。毎日8、10時間を練習に費やし、約2年間の下積みを経て、音楽で生計を立てられるようになったそうです。

多忙となった今でも、ライブの衣装は自作。ホームペーじやグッズ制作、ポスターやパンフレットのデザインまで手掛けています。「一体いつ寝ているの？」とよく聞かれるのですが、本当によく寝ているんですよ。そう笑いますが、しらの仕事をしてしまうそうです。好きなことにいつも全力で向き合う姿勢が、現在の活躍につながっています。



市報×Instagram連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します



♡ Q ▼ @rafii.38_be.myself_さん



♡ Q ▼ @willow0112さん



♡ Q ▼ @kyusyutabi06さん

(上から)火の山公園からの景色、住吉神社、
角島大橋

Can You Guess Where This Is??

Editor's note

編集後記

◆姉妹都市・釜山との交流の過去・現在・未来の取材を始めたつもりが、気が付けば私自身が取材にご協力いただいた皆さんとの交流に支えられ、「人と人のつながり」がテーマになっていました。誌面には書き切れなかった温かいエピソードもたくさんいただきました。一人でも多くの市民の皆さんが釜山をもっと身近に感じ、新たな交流の一步を踏み出していただけたら、これ以上うれしいことはありません。(く)



▶今年も川棚温泉
祭りで大活躍。
こだわりのヴィン
テージサックス
で、会場を埋め尽
くす人々に感動を
届けた。



◀地元の中学生と
一緒に演奏。ボラ
ンティアで指導も
行う。「練習すれ
ば、必ず上手くな
る。仲間と楽しく、
上達を楽しんで」



▶たをやめオルケ
スタのメンバー16
人全員の衣装を制
作。自作の衣装は、
延べ200着以上。
「音楽だけでなく、
見た目も楽しんで
ほしい」

**地元愛、爆発
集まれ！岡村組**
今、岡村さんが最も楽しみにしているのが、8月9日に
市民会館で行う凱旋ライブ。
「多分、人生で一番の日にな
ると思うな」
学生時代に聴いた公演の感
動がずっと忘れられないとい
う岡村さん。今度は自分が感
動を与える側になりたいと考
えていたものの、なかなか行
動には移せずにいました。し
かし、東日本大震災で音楽の
仕事が減り、音楽に向き合
う意味を改めて考えるよう
になったといいます。「本気で音
楽に打ち込む姿で少しでも勇



◀たをやめ
オルケスタ
HP

気を与えられたら」。そう考
えた岡村さんは、地元への恩返
しを決意。「15年間地元への種
まきを続けてきた」との言葉
通りに歩みを進め、ついにそ
の日がやってきます。「やっぱ
り一番好きなのはライブ。会場
で生の音を聴いてほしいです」
岡村さんは、自身のファン
を親しみを込めて「岡村組」と
呼びます。8月9日、市民会
館には大勢の「岡村組」と地元
への思いを乗せた音色が響き
渡ることでしょう。